



# USB フロッピーディスクユニット オンラインマニュアル

## 目 次

ごあいさつ .....	2
ご注意 .....	2
<b>第 1 章 製品のご紹介 .....</b>	<b>3</b>
1 . 1 製品概要 .....	3
1 . 2 各部の名称と機能 .....	5
1 . 3 フロッピーディスクのセットと取り出し .....	6
<b>第 2 章 Macintosh 環境の場合 .....</b>	<b>8</b>
2 . 1 使用環境 .....	8
2 . 2 フォーマット方法について .....	10
2 . 3 補足事項 .....	14
2 . 4 トラブルシューティング .....	16
<b>第 3 章 Windows 環境の場合 .....</b>	<b>18</b>
3 . 1 使用環境 .....	18
3 . 2 フォーマットについて .....	20
3 . 3 補足事項 .....	30
3 . 4 トラブルシューティング .....	31

\* Windows は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。

\* Apple、Macintosh、Mac、PowerBook、iMac、eMac、iBook、MacOSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

\* PC-9800は日本電気株式会社の商標です。

\* 本書に記載されているパソコン名等は、併記された各社の商標または登録商標です。

# ごあいさつ

この度は弊社フロッピーディスクユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書はフロッピーディスクユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社フロッピーディスクユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

## ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用した環境でデータがハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって失われた場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

# 第1章 製品のご紹介

## 1.1 製品概要

本製品は、スリムなデザインを採用した、USB外付型FDユニットです。WindowsとMacintoshの両OSに対応していますので、幅広いパソコンでフロッピーディスクを活用することができます。

「USBバスパワー対応」ですので、USBポートから供給される電源で動作可能です。ACアダプタ等の外部電源は不要ですので、ケーブル一本でパソコンと接続できます。コンセントの空きなどを心配する必要がなく、使用場所を選びません。手軽に持ち運んで利用することができます。

USB FDからの起動をサポートしたパソコンであれば、「起動ディスク」として使用することが可能です。パソコンのBIOSの書き換えなどに重宝します。(USB FDからの起動をサポートしたパソコンでも、起動できない場合があります。)

Macintoshパソコンに接続する場合、「USB Floppy Enabler」に対応していますので、「キープロテクトフロッピーディスク」に対応したアプリケーションのインストールが可能です。以下のフォントのフォントキーディスクを使用することができます。(社名は50音順)

株式会社フォントワークス (<http://www.fontworks.com/>)  
: CIDクラシックセット 26 高解像度版 など  
株式会社モリスワ (<http://www.morisawa.co.jp/>)  
: New CID フォント リュウミン L-KL など

詳細は各社のWebサイトでご確認ください。

日本語ワープロデータ変換ソフト「リッチ・テキスト・コンバータ」で動作が確認されていますので、各種ワープロ用データFDからの読み込みが可能です。

詳細はアンテナハウス株式会社Webサイトでご確認ください。  
(<http://www.antenna.co.jp/>)

「101.6 (幅) × 140 (奥行き) × 17.3 (厚さ) mm」「270g (質量)」と、コンパクトで軽量です。持ち運びにも便利です。

「Windows」と「Macintosh」に対応した、マルチプラットフォームのFDユニットです。幅広いパソコンに接続することができます。FDドライブを持たないパソコン等で、FDメディアを活用できます。

「USB 2.0 Full-Speed」に対応しています。ケーブルを差し込むだけの簡単接続で使用できますので、導入が容易です。ホットプラグが可能ですので、複数のパソコンのデータのバックアップやパソコン間でのデータ交換を容易に行うことができます。従来のUSB 1.1対応のUSBポートに接続することも可能です。

USBケーブルは「約60cmの長さ」がありますので、USBポートがパソコン背面に装備されている場合でも、余裕を持って設置することができます。

本製品は、EUの「RoHS指令(電器・電子機器に対する特定有害物質の使用制限)」に準拠した、環境にやさしい製品です。RoHS指令の対象物質である鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニール、ポリ臭化ジフェニルエーテルについて、許容値をクリアしています。



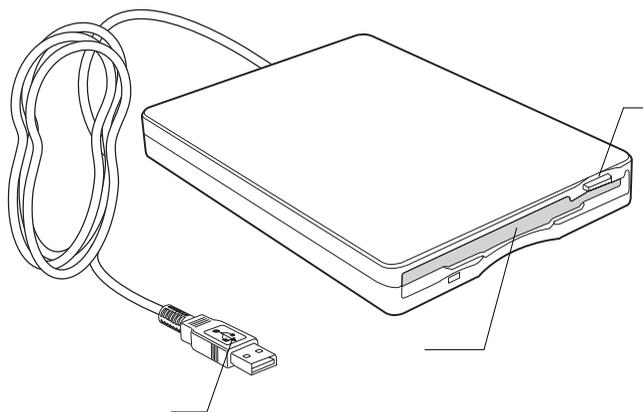
#### ご注意

---

- ・ 本製品をパソコンに複数台接続することはできません。接続は1台だけです。
  - ・ 本製品をUSBハブに接続している場合は、必ずUSBハブをセルフパワー(USBハブにACアダプタを接続して独立した電源を取ること)でご使用ください。USBハブをバスパワー(USBコネクタから電源を取ること)で使用すると、電流不足のため正常に動作しません。
  - ・ コピープロテクトなどの目的で、特殊なフォーマットを施されたフロッピーディスクは、取り扱えない場合があります。
-

## 1.2 各部の名称と機能

---



**USB コネクタ (シリーズ A)**  
パソコンの USB ポートに接続します。

**ディスク挿入口**  
フロッピーディスクをセットする部分です。

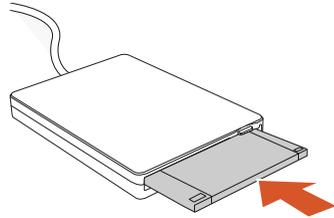
**イジェクトボタン**  
セットされたフロッピーディスクを取り外す際に使用します。

## 1.3 フロッピーディスクのセットと取り出し

本製品の接続 / インストール方法などは環境によって異なるため、第2章～第4章で環境ごとに説明します。ここでは、それに先立って全環境に共通の取り扱いなどを説明します。

### フロッピーディスクをセットする時は・・・

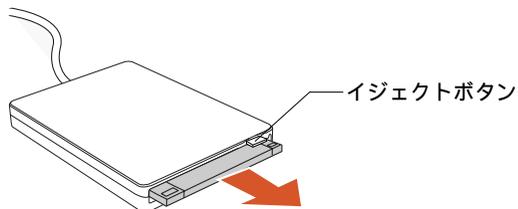
フロッピーディスクをセットする時は、右図を参考にしてラベル面を上にして挿入してください。



### フロッピーディスクを取り出す時は・・・

フロッピーディスクを取り出すときは、次の点を確認してからイジェクトボタンを押して取り出してください。

- ・フロッピーディスクのアクセスランプが点灯していないことを確認する。
- ・フロッピーディスク上のファイルを操作していないことを確認する。(フロッピーディスクに保存した文書をワープロソフトで編集中の場合など。)
- ・Macintosh 環境の場合は、上記の点を確認後、デスクトップにマウントされているフロッピーディスクのアイコンをゴミ箱に重ねてください。



## 本製品を取り外すときは

USBはホットプラグ機能を持っていますので、パソコン本体の電源がONになっている状態で本製品を取り外すことも可能です。これを行う場合は、前項目にしたがって本製品からフロッピーディスクを取り出してから、USBケーブルを外してください。



### ご注意

---

パソコンがスリープ(サスペンド)状態にあるときは、フロッピーディスクの取り出しや、本製品の取り外しを行わないでください。

---

## 2.1 使用環境

---

### パソコン環境

本製品は以下のOSを搭載し、パソコン側のインターフェースがUSBバスパワーに対応したMacintoshマシンに接続して使用することができます。

Mac OS X 10.2以降  
Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2まで  
Mac OS 8.6

最新の情報は弊社Webサイトをご確認ください。



#### ご注意

---

- ・本製品はオートイジェクト機能を持っていません。フロッピーディスクの取り出しは前面のイジェクトボタンで行います。
  - ・複数のフロッピーディスクを使う一部のアプリケーションで従来のMacintoshシリーズ内蔵フロッピーディスクドライブを前提として作成されているものでは、フロッピーディスクの交換ができない場合があります。
  - ・コピープロテクトなどの目的で、特殊なフォーマットを施されたフロッピーディスクは、取り扱えない場合があります。
-

## 使用可能なメディアについて

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.4 MB Macintosh		1
	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800	×	×
	1.4 MB ProDOS	×	×
2DD	800KB Macintosh	×	×
	720 KB DOS / V		1 2
	640KB PC - 9800	×	×

1

Mac OS Xをご使用の場合、Mac OS X 10.3以降でフォーマット可能です。フロッピーディスクのフォーマットには、Mac OS X標準の「ディスクユーティリティ」をお使いください。未フォーマットのフロッピーディスクはフォーマットできない場合があります。その場合は、Mac OS Xではない環境でフォーマットしたフロッピーディスクをお使いください。

2

Mac OS Xをご使用の場合、「ディスクユーティリティ」にてMS-DOS形式でフォーマットを行う場合、ボリューム名を半角英数字で11文字までにする必要があります。



## ご注意

- ・Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 の場合、フォーマットのダイアログでは「1.4M ProDOS」が項目として表示されますが、正常にフォーマットできませんので選択しないでください。
- ・DOS/V パソコンの形式でフォーマットされたフロッピーディスクを使用するためには、MacOS 標準のユーティリティ「File Exchange」を有効にする必要があります。

## 2.2 フォーマット方法について

### Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 環境の場合

上記の環境でフロッピーディスクのフォーマットを行う場合は、以下の手順をご参照ください。

本製品にフォーマットしたいフロッピーディスクをセットします。(フロッピーディスクは、ライトプロテクトされていないことをあらかじめ確認してください。)

デスクトップ上のフロッピーディスクのアイコンをクリックして選択し、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を選択します。



以下のようなウィンドウが開きます。ここでフォーマットの設定を行います。(画面は、2HDのフロッピーディスクをフォーマットする場合の例です。)

次ページを参照して必要な設定を行った後に、「初期化」ボタンをクリックしてください。



## 容量

### 2HD のフロッピーディスクをセットした場合

Mac OS 標準 1.4MB

- 通常はこのモードを使用します。

DOS 1.4MB

- DOS/Vパソコンと同じ形式でフォーマットします。DOS/Vパソコン標準の「1.44MB フォーマット」と呼ばれます。



### ご注意

---

フォーマットのダイアログでは「ProDOS 1.4M」が項目として表示されることがありますが、正常に取り扱うことができませんので、選択しないでください。

---

### 2DD のフロッピーディスクをセットした場合

DOS 720KB

- DOS/Vパソコンと同じ形式でフォーマットします。DOS/Vパソコン標準の「720KBフォーマット」と呼ばれます。2DDのフロッピーディスクをセットしたときは、ここでフォーマット形式を選択することはできません。

オプション設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックすると、フォーマットが開始します。  
フォーマットが完了すると、通常のウィンドウに戻ります。必要に応じてフォーマットされたフロッピーディスクをアンマウントして取り出してください。

## Mac OS X 環境の場合

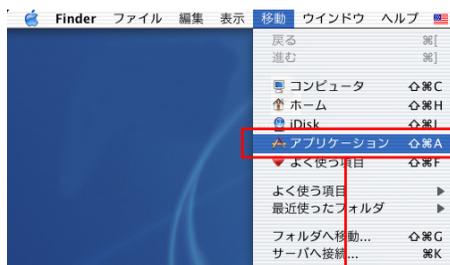
Mac OS X 環境の場合、Mac OS X 10.3 以降で対応するフロッピーディスクのフォーマットが可能です。フォーマットには、Mac OS X 標準の「ディスクユーティリティ」をお使いください。

未フォーマットのフロッピーディスクはフォーマットできない場合があります。その場合は、Mac OS X ではない環境でフォーマットしたフロッピーディスクをお使いください。

「ディスクユーティリティ」にてMS-DOS形式でフォーマットを行う場合、ボリューム名を半角英数字で11文字までにする必要があります。

### ディスクユーティリティでのフォーマット方法

メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択してください。



選択

「アプリケーション」ウィンドウが表示されます。ここで「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックしてください。



「ユーティリティ」フォルダの一覧の中から、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックしてください。

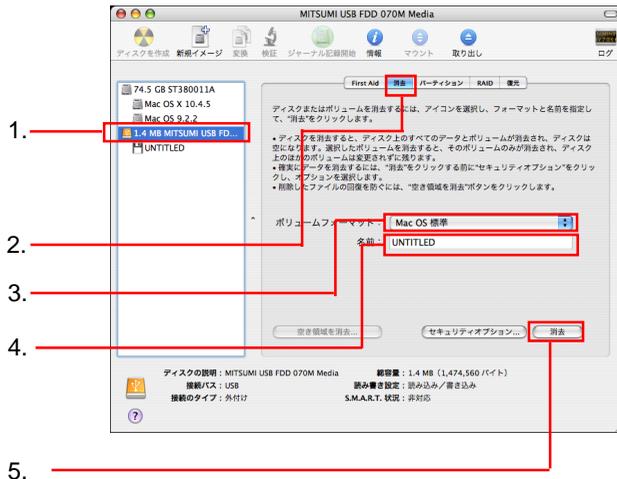
ダブルクリック



Mac OS Xの標準フォーマッタ「ディスクユーティリティ」が起動します。以下のように設定してフォーマットを行ってください。

2

1. 本製品のドライブ名 (\*\* MITSUMI USB FD...) を選択
2. 「消去」タブを選択
3. ボリュームフォーマットの欄でフォーマット形式を選択
4. 「名前」の欄に、本製品の名前を入力。(本製品がデスクトップにマウントされる際、ここに入力した名前が表示されるようになります)
5. 「消去」ボタンをクリック



確認のメッセージウィンドウが表示されますので「消去」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

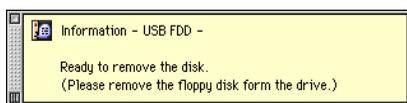
## 2 . 3 補足事項

### フロッピーディスクを取り出す時は・・・

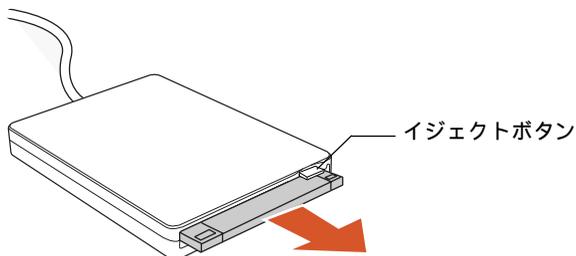
フロッピーディスクを取り出す時は、必ずフロッピーディスクをアンマウントしてください。アンマウントは以下のどれかの方法で行います。

- ・フロッピーディスクのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・フロッピーディスクのアイコンを1回クリックして選択状態にし、「特別」メニューの「取り出し」を選択する。
- ・フロッピーディスクのアイコンを1回クリックして選択状態にし、アップルキー + Eを入力する。

いずれの方法でアンマウントした場合も、以下のようなメッセージが表示されて、フロッピーディスクのアイコンが消えます。この状態で本製品前面のイジェクトボタンを押して、フロッピーディスクを取り出してください。フロッピーディスクを取り出すと、メッセージウィンドウは自動的に閉じます。



メッセージウィンドウはOSにより異なります。  
Mac OS Xの場合はメッセージウィンドウは表示されません。

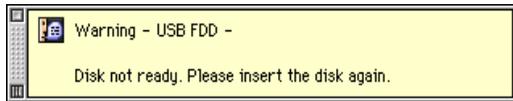




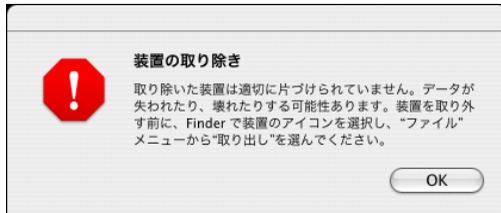
## ご注意

- ・Macintosh 本体がスリープ状態にある時は、フロッピーディスクの取り出しを行わないでください。
- ・前ページのように正しい手順を踏まないでフロッピーディスクを取り出ししたり、USBコネクタを外すと、以下のようなエラーメッセージが表示されます。これが表示された場合は、速やかにフロッピーディスク / USBコネクタを元に戻してください。

## Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 の場合



## Mac OS X の場合

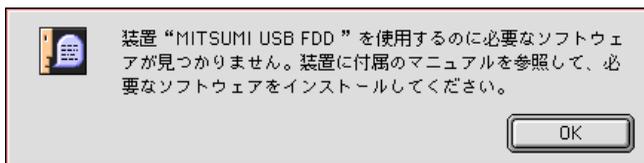


## 2 . 4    トラブルシューティング

本製品を接続しても認識されない。

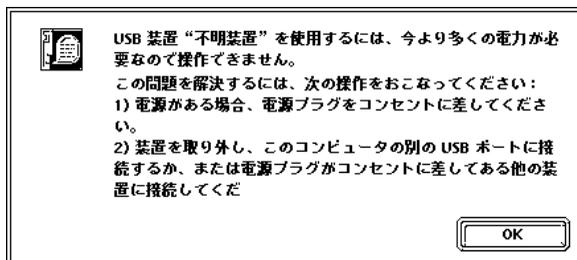
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうかを確認してください。本製品の接続に USB ハブを使用している場合は、Macintosh 本体から本製品までの接続経路のうち、ケーブルが外れている部分がないかどうか確認してください。

本製品を接続すると、  
以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。セットアップガイドを参照して、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

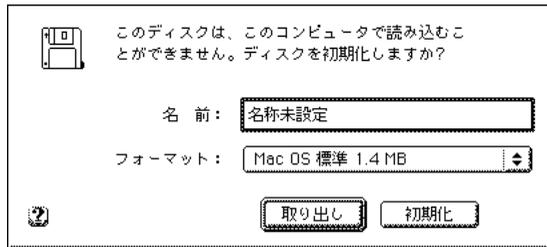
本製品を接続すると、  
以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品を Macintosh シリーズのキーボードの USB コネクタに接続していませんか？ キーボードの USB コネクタは、本製品の接続には使用できませんので、Macintosh 本体の USB コネクタに接続してください。

本製品の接続にUSBハブを使用している場合は、USBハブをセルフパワー（ACアダプタなどを接続して、USBハブに独立した電源を取ること）で使用してください。

本製品に特定のフロッピーディスクをセットすると、以下のようなウィンドウが表示される。



そのフロッピーディスクは本製品でサポートしていない形式（例えばMacintosh用の2DD 800KBフォーマット、もしくはPC-9800用の2HD 1.25MBフォーマットなど）でフォーマットされています。

「取り出し」と書かれたボタンをクリックしてから、本製品のイジェクトボタンを押してフロッピーディスクを取り出し、内容を確認してください。

特定アプリケーションのインストーラでフロッピーディスクの交換ができない。

そのインストーラは従来のMacintoshシリーズ内蔵型フロッピーディスクドライブを前提として作成されています。申し訳ありませんが、このタイプのソフトウェアは本製品では使用できません。

本製品のドライブをアンインストールしたい。

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

MITSUMI USB FD Driver

# 第3章

## Windows® 環境の場合

### 3.1 使用環境

---

本製品は以下のOSし、USBバスパワーに対応したDOS/Vパソコンにて使用することができます。また、OSは全て日本語版に限ります。

Windows XP Home Edition/Professional

Windows 2000 Professional

Windows Me

Windows 98 ( Second Edition 含む )

日本電気株式会社PC-9800シリーズで使用することはできません。



#### ご注意

---

本製品を使用する場合は、Windows XP , Me , 2000上でUSBポートが正常に動作する必要があります。特にUSBポートをサポートしていないOS (例えばWindows NT 4.0 , Windows 95など)からのアップグレードを行った場合は、USBポートが正常に動作していることをご確認ください。

一部、自作パソコンなどで製品の組み合わせなどにより、正常に動作しない場合があります。

---



#### ご注意

当社DOS/V対応製品は、一般に市販されているDOS/Vパソコン製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

## 使用可能なメディアについて

本製品で使用可能なメディアは下表で のついたものです。

### Windows XP の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		×
2DD	720 KB DOS / V		×

### Windows 2000 の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		
2DD	720 KB DOS / V		

### Windows Me の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		×
2DD	720 KB DOS / V		

### Windows 98 の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		×
2DD	720 KB DOS / V		



### ご注意

- ・2HD 1.25MB フォーマットディスクは、パソコン側のサポート状態により、リード/ライトができない場合があります。
- ・2HD 1.25MB フォーマットディスクをリード/ライトするためには、パソコンの仕様により他の周辺機器（Compact Flash カードなど）を取り外さなければならないなどの制限がある場合があります。

## 3 . 2 フォーマットについて

---

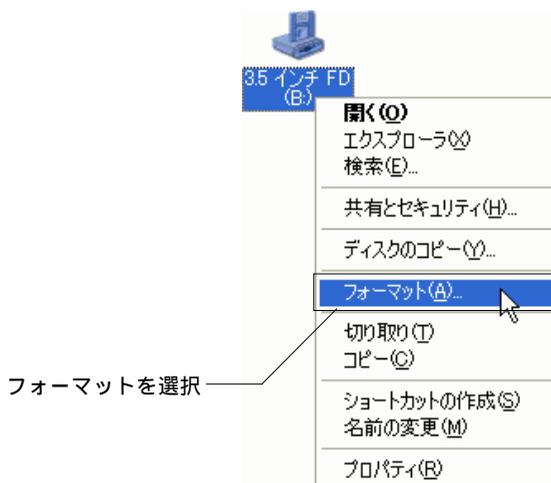
### Windows XP の場合

Windows XP で本製品にセットしたフロッピーディスクのフォーマットを行いたい場合は、以下の手順にしたがってください。

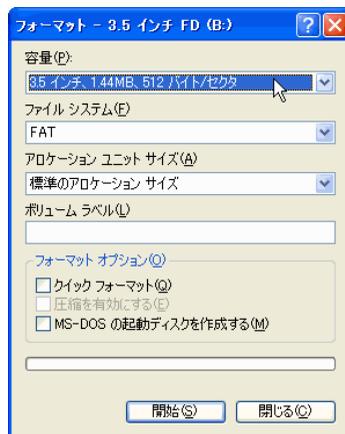
本製品にフォーマットしたいフロッピーディスクをセットします。(フロッピーディスクはライトプロテクトされていないことをあらかじめ確認しておいてください。)

「スタート」メニューから「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、「マイコンピュータ」のウィンドウで、本製品のアイコン「3.5 インチ FD (B:)」を右クリックします。  
ドライブレターは (B:) でない場合もあります。

表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。



右のようなウィンドウが開きます。ここで、下の説明にしたがってフォーマットの設定を行ってください。



## 容量

2HDのフロッピーディスクをセットした場合は「1.44MB」が自動的に選択されます。変更する必要はありません。(Windows XP では1.44MBのフロッピーディスクのみフォーマットをサポートしています。)

## ファイルシステム

フロッピーディスクの場合は、FAT 以外の設定は選べません。

## アロケーションユニットサイズ

この設定は変更できません。

## ボリュームラベル

必要に応じて、フロッピーディスクにつける名前を半角11文字以下、全角5文字以下で指定することができます。

## クイックフォーマット

すでにフォーマットしたことがあるフロッピーディスクを再フォーマットする場合に、このチェックボックスをチェックするとフォーマットが短時間で終了します。新規購入したフロッピーディスクやトラブルが発生したフロッピーディスクではチェックしないでください。

## 圧縮を有効にする

このオプションは本製品では指定できません。

## MS-DOS の起動ディスクを作成する

OS をフロッピーディスクから起動するためのディスクを作成する際に使用します。

オプション設定が終了したら、「開始」と書かれたボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

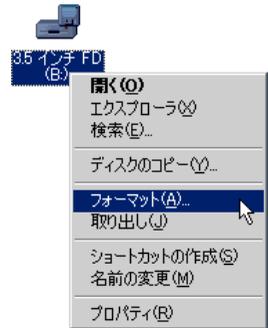
フォーマットが終了すると、フォーマットのウィンドウに戻りますので、「閉じる」と書かれたボタンをクリックして、ウィンドウを閉じ、必要に応じてフォーマットされたフロッピーディスクを取り出してください。

## Windows Me の場合

Windows Me で本製品にセットしたフロッピーディスクのフォーマットを行いたい場合は以下の手順にしたがってください。

本製品にフォーマットしたいフロッピーディスクをセットします。(フロッピーディスクはライトプロテクトされていないことをあらかじめ確認しておいてください。)

デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、「マイコンピュータ」のウィンドウで、本製品のアイコン「3.5 インチ FD (B:)」を右クリックします。  
ドライブレターは (B:) でない場合もあります。



表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。

下のようなウィンドウが開きます。ここで、次ページ以降の説明にしたがってフォーマットの設定を行ってください。



## 容量

2HD のフロッピーディスクをセットした場合は「1.44MB」が、2DDのフロッピーディスクをセットした場合は「720KB」が、自動的に選択されます。変更する必要はありません。

## フォーマットの種類

「クイックフォーマット」は、すでにフォーマットしたことがあるフロッピーディスクを再フォーマットする場合に使用します。

「通常のフォーマット」は、新規購入したフロッピーディスクや、トラブルが発生したフロッピーディスクをフォーマットする場合に使用します。

## オプション

「ボリュームラベル」のテキストボックスでは、必要に応じてフロッピーディスクにつける名前を半角11文字以下、全角5文字以下で指定することができます。

「ボリュームラベルなし」のチェックボックスは、ボリュームラベルが必要ない場合にチェックしてください。

「結果レポートの表示」のチェックボックスは、終了時に結果を表示するかどうか設定するものです。通常はチェックしたままにしてください。

オプション設定が終了したら、「開始」と書かれたボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

フォーマットが終了すると、結果レポートのウィンドウが表示されますので、内容を確認してOKボタンをクリックしてください。

さらに前ページのウィンドウに戻りますので、「閉じる」と書かれたボタンをクリックして、ウィンドウを閉じ、必要に応じてフォーマットされたフロッピーディスクを取り出してください。

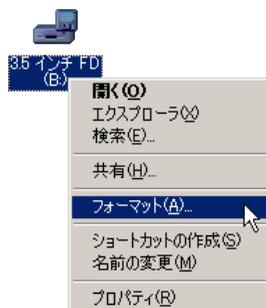
## Windows 2000 の場合

Windows 2000 で本製品にセットしたフロッピーディスクのフォーマットを行いたい場合は以下の手順にしたがってください。

本製品にフォーマットしたいフロッピーディスクをセットします。(フロッピーディスクはライトプロテクトされていないことをあらかじめ確認しておいてください。)

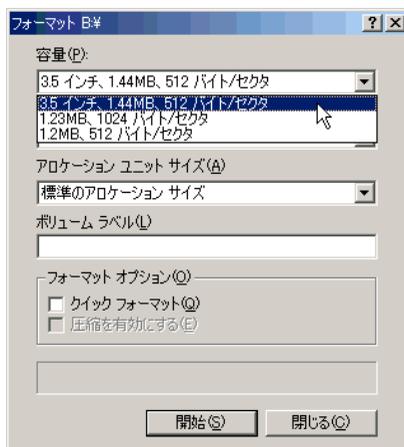
デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、「マイコンピュータ」のウィンドウで、本製品のアイコン「3.5 インチFD(B:)」を右クリックします。

ドライブレターは(B:)でない場合もあります。



表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。

下のようなウィンドウが開きます。ここで、次ページ以降の説明にしたがってフォーマットの設定を行ってください。



## 容量

2HDのフロッピーディスクをセットした場合は、以下の3種類から選択します。

3.5 インチ、1.44MB、512 バイト / セクタ

通常はこのモードを使用します。DOS/V 標準の1.44MB フォーマットと呼ばれます。フォーマット後のプロパティでは、「1,457,664 バイト、1.38MB」と表示されます。

1.23MB、1024 バイト / セクタ

PC-9800 シリーズとデータ交換したい場合は、このモードを使用します。フォーマット後のプロパティでは、「1,250,304 バイト、1.19MB」と表示されます。

1.2MB、512 バイト / セクタ

特殊なパソコンで採用されたフォーマット形式ですので、使用しないでください。フォーマット後のプロパティでは、「1,213,952 バイト、1.15MB」と表示されません。

2DDのフロッピーディスクをセットした場合は、自動的に以下の容量になります。

3.5 インチ、720KB、512 バイト / セクタ

フォーマット後のプロパティでは、「730,112 バイト、713KB」と表示されます。

## アロケーションユニットサイズ

通常の場合は変更しないでください。

## ボリュームラベル

必要に応じて、フロッピーディスクにつける名前を半角11文字以下、全角5文字以下で指定することができます。

## クイックフォーマット

すでにフォーマットしたことがあるフロッピーディスクを再フォーマットする場合に、このチェックボックスをチェックするとフォーマットが短時間で終了します。新規購入したフロッピーディスクやトラブルが発生したフロッピーディスクではチェックしないでください。

## 圧縮を有効にする

このオプションは本製品では指定できません。

オプション設定が終了したら、「開始」と書かれたボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

フォーマットが終了すると、フォーマットのウィンドウに戻りますので、「閉じる」と書かれたボタンをクリックして、ウィンドウを閉じ、必要に応じてフォーマットされたフロッピーディスクを取り出してください。

## Windows 98 の場合

Windows 98で本製品にセットしたフロッピーディスクのフォーマットを行いたい場合は以下の手順にしたがってください。

本製品にフォーマットしたいフロッピーディスクをセットします。(フロッピーディスクはライトプロテクトされていないことをあらかじめ確認しておいてください。)

デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、「マイコンピュータ」のウィンドウで、本製品のアイコン「3.5 インチ FD (B:)」を右クリックします。

ドライブレターは(B:)でない場合もあります。



表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。

下のようなウィンドウが開きます。ここで、次ページ以降の説明にしたがってフォーマットの設定を行ってください。



## 容量

2HD のフロッピーディスクをセットした場合は「1.44MB」が、2DD のフロッピーディスクをセットした場合は「720KB」が、自動的に選択されます。変更する必要はありません。

## フォーマットの種類

「クイックフォーマット」は、すでにフォーマットしたことがあるフロッピーディスクを再フォーマットする場合に使用します。

「通常のフォーマット」は、新規購入したフロッピーディスクや、トラブルが発生したフロッピーディスクをフォーマットする場合に使用します。

## オプション

「ボリュームラベル」のテキストボックスでは、必要に応じてフロッピーディスクにつける名前を半角11文字以下、全角5文字以下で指定することができます。

「ボリュームラベルなし」のチェックボックスは、ボリュームラベルが必要ない場合にチェックしてください。

「結果レポートの表示」のチェックボックスは、終了時に結果を表示するかどうか設定するものです。通常はチェックしたままにしてください。

「システムファイル」のコピーは通常チェックを外しておいてください。

オプション設定が終了したら、「開始」と書かれたボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

フォーマットが終了すると、結果レポートのウィンドウが表示されますので、内容を確認してOK ボタンをクリックしてください。

さらに前ページのウィンドウに戻りますので、「閉じる」と書かれたボタンをクリックして、ウィンドウを閉じ、必要に応じてフォーマットされたフロッピーディスクを取り出してください。

## 3 . 3 補足事項

---

### 取り外しについて

USBはホットプラグをサポートしていますので、パソコン本体の電源がONになっている状態で本製品を取り外すことが可能です。ただし、いつでも取り外しが可能なわけではありません。

本製品にセットしたフロッピーディスク上のファイルが、アプリケーションなどから開かれていないことを確認し、フロッピーディスクを本製品から取り出してから、以下の手順で取り外しを行ってください。

本製品を接続した状態では、画面下のタスクバーに取り外しが表示されます。このアイコンを1回クリックすると、以下のようメッセージが表示されますので、マウスカーソルをメッセージに合わせてクリックしてください。

### Windows XP の例



しばらくすると、フロッピーディスクを安全に取り外すことのできるメッセージが表示されます。これで本製品は取り外し可能です。

### 本製品の認識

ドライバのインストール後、「マイコンピュータ」を開くと本製品が新しいフロッピーディスクドライブとして認識され、フロッピーディスクのアイコンが追加されます。

Windows 98では本製品のドライブ名を指定することはできません。ただし、パソコンにインストール済みのドライブを使用すると、まれに「A:ドライブ」固定となる場合があります。

また、再起動後にドライブ名が変更される場合もあります。念のため、再起動してからご使用ください。

## 3.4 トラブルシューティング

---

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？  
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

本製品からシステム起動ができない。

USBは通常BIOSの管理下にありませんのでUSB接続された記憶装置からのシステムの起動はできなくなっています。最近では、多くのパソコンのBIOSに改良が加えられ、本製品でもシステム起動ができるようになっていきます。起動ができるか、できないかはパソコン側のBIOS仕様によります。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ(サスペンド)状態の処理方法によりこのような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラムなどによりこの現象を回避できる場合もあります。  
スリープ状態から復帰できない場合は、スリープ(サスペンド)機能をOFFにしてご使用ください。

デスクトップパソコンに比べ、リード/ライトが遅い。

パソコン本体の処理速度、USBのデータ転送速度等の制限により、1倍速のUSBフロッピーディスクユニットの場合、パフォーマンスはデスクトップパソコン内蔵のフロッピーディスクよりわずかに遅くなる場合があります。恐れ入りますが、ご了承ください。

## 2HD 1.25MB フォーマットのディスクが読み込めない。

コンパクトフラッシュカードを併用していませんか？ パソコン本体によってはコンパクトフラッシュカードを併用すると、2HD 1.25MB のフロッピーディスクをアクセスできない場合があります。コンパクトフラッシュカードを取り外してみてください。

パソコン本体によっては、パソコン自体が 2HD 1.25MB のフロッピーディスクをサポートしていない場合があります。

## フロッピーディスクのフォーマットができない。

フロッピーディスクがライトプロテクトされていませんか？ OS によりサポートされていないサイズの FD をフォーマットしようとしていませんか？

「3.1 使用環境」「3.2 フォーマットについて」を参照し、ご使用の OS でサポートされているフォーマット形式をご確認下さい。

## Windows XP で、1.25MB フォーマット済みフロッピーディスクを使うことができない。

Windows XP を起動した直後に、1.25MB フォーマット済みフロッピーディスクをセットしたときに、ファイルを読み出すことができないことがあります。起動した直後には、1.44MB フォーマット済みフロッピーディスクをセットし、エクスプローラなどでアクセスし、その後 1.25MB フロッピーディスクに入れ替えてご使用ください。

## その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関する Q&A コーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF 形式でダウンロード可能になっていますのでご利用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>